

第69回 定時総会

一般社団法人 日本道路建設業協会 中部支部



第69回

定時総会開催

(一社)日本道路建設業協会中部支部は6月2日、名古屋市東区のメルパルク名古屋にて第69回定時総会を開催しました。

16年度の事業報告・決算及び役員追認等を可決承認し、17年度の事業計画と収支予算などを報告しました。

この春の人事異動に伴う役員追認では、幹事長に瀧上彰 恭 世紀東急工業(株)名古屋支店長・幹事に鈴木克也 大成ロテック(株)中部支社長・林肇(株)佐藤渡辺中部支店長、顧問として花木道治 東亜道路工業(株)中部支社副社長の追認が承認されました。

議事に先立ち協会本部より功勞表彰が行われ、技能社員表彰では受賞者を代表して前田道路(株)渡邊文男氏に増永修平会長より表彰状が授与されました。

青野支部長は、本部協会が掲げた3つの新たな取組みに

ついて、「コンプライアンス体制確保の支援」「i-Constructionの導入による効率的な事業の実施」「担い手確保を目指した広報戦略の推進」を支部としても積極的に取り組む考えを示すと共に、支部総会のスローガンとして「道路整備の推進」「道路技術の向上」「道路建設業の健全な発展」の3つの柱を掲げ、広報活動にも力を注ぐ考えを併せて示されました。

また先年、「担い手三方」が大幅に改正され、発注者の責務として受注者が適正な利潤を確保できるよう施策を講じることが明記されたことについて、諸施策が着実に実施されつつある事は、我々業界にとってありがたいと感謝の意を述べられました。

本部より参加した増永会長は、国土交通省で推進されている「i-Construction」の取り組みが、今年度より舗装工事でも対象として実施されることについて、道路建設業業界としてもこの施策に積極的に対応して行くため、新たに協会内に「i-Pavement推進本部」を設置、導入にあたり諸課題について検討、導入相談を実施すると述べられました。

報告された17年度事業計画には、基本方針として▽道路整備の推進▽道路建設技術の向上▽道路建設業の健全な発展の3点を明示し、発注者らとの意見交換、講習・研修会、講演会の開催、安全パトロールなどを盛り込みました。

第69回 定時総会

一般社団法人 日本道路建設業協会 中部支部

